



プログラミングワークショップ
活動レポート Vol.1
2022.12.26 発行

CTC 未来財団

■新しいプログラミングワークショップ

「IT 教育支援事業」の取り組みとして、新たなプログラミングワークショップを NPO 法人みんなのコードと協働で開発しました。

〉開発コンセプト・目的

- ・楽しい中に学びのある内容にする。
- ・放課後の子どもの居場所を利用して子ども達にプログラミングの楽しさを届ける。

〉ワークショップの内容

Scratch*を使い、「ゴミ分別ゲーム」を作ります。空から落ちてくるゴミの中から資源ゴミだけを選んでゴミ箱で受け取るゲームです。プログラミングの場面でよく使われる「ループ」を用い、ゴミ分別とゲーム作りの楽しさを学べるワークショップです。



実際の「ゴミ分別ゲーム」の画面

*Scratch

Scratch 財団がマサチューセッツ工科大学メディアラボ ライフロン・キンダーガーデン・グループと共同開発する、8 歳～16 歳のユーザーがメインターゲットの無料教育プログラミング言語及びその開発環境、コミュニティサイト。



■因島で初開催！

日本財団の「子ども第三の居場所」のひとつであり、現在は広島県尾道市の事業として尾道市社会福祉協議会が運営している b&g 因島で 12 月 16 日（金）新しく開発したプログラミングワークショップを開催しました。



最初は緊張した表情の子ども達でしたが、すぐに笑顔が見られるようになりました。クイズ形式で資源ゴミの種類を覚えたり、Scratch でブロックを繋げてプログラミングをする方法を教えてもらいながら、自分専用のタブレット端末で「ゴミ分別ゲーム」作りに取り組みました。



【児童・青少年に対する IT 教育の支援事業】

CTC 未来財団では小学校向けの無料のプログラミング貸出教材や情報科学を学ぶ学習カードの無償配布、プログラミングワークショップを行って



① 因島拠点は小学 1 年生～6 年生まで 8 名の子ども達が利用しています。今回のワークショップは子ども達と拠点のスタッフの皆さんも参加して和気あいあいとしたアットホームな雰囲気でのびのびと行われました。



② ワークショップの仕上げは発表です。ワークショップの感想やプログラミングで工夫をしたところを全員が発表しました。「プログラミングは面白かった。」「ゴミの種類ごとにゴミ箱が受け取った時の音を変えるようにした。」など 2 時間のプログラミングワークショップを最後まで集中しながら楽しみました。

発行：公益財団法人 CTC 未来財団

〒105-6909 東京都港区虎ノ門 4-1-1 神谷町トラストタワー 9 階
TEL : 03-6450-1540 e-mail : office@mirai-zaidan.or.jp